



## CSWによる支え合いのしくみづくり ～ひとりぼっちをなくすために～

亀山市は、本年4月からコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を設置し、地域で助け合う福祉のしくみづくりを展開しています。

これは、地域まちづくり協議会を単位として、住民自らが主体的に地域の福祉課題を把握し、助け合い・支え合いにより解決を試みることができるよう、ちょっとした困りごとに対応する「ちょこボラ」を育成しながら行うものです。

これらのしくみづくりに向け、亀山市社会福祉協議会に設置されたCSWは、地域の支援のほか、個別ケースの支援を進め、これまで市民等から延べ87件の相談を受けており、中には全国的に問題視されているゴミ屋敷等の多様化・複合化した課題や「制度の狭間」の問題解決に向けた支援も行っております。

一方で、社会福祉協議会と協働し、地域まちづくり協議会の福祉委員会(全22地区)や民生委員児童委員協議会(全4地区)を訪問し、コミュニティソーシャルワークの概要やCSWの役割の説明を通じて取り組みの浸透を図っているところでもあります。

今後も社会福祉協議会と連携し、CSWを中心とした地域支援、個別支援、を展開しながら、地域における助け合い・支え合いのしくみを構築し、「ふくし」のまち亀山の実現に向け取り組んでまいります。